

【トラック1】

まる「いらっしやいませー！ 喫茶まるへようこそー！」
まる「1名様ですね、空いてるお好きな席どうぞ〜」

まる「お兄さん、お店来るの初めてですよ〜？」
まる「では店長である私ことマルからお店の説明をさせていただきます！」
まる「当店はここメスめま町に爆誕した癒しの萌えメイド喫茶でありますて...」
まる「マルと楽しく話しながら素敵な時間を味わえる、夢のような空間なのですっ！」

まる「他のお店とは一味違う『テーマ』があつてですね」
まる「それはお兄さんみたいな人が好きそうな...」

まる「...え？マルのこと、ですか？」
まる「ああまあ...見た目は小学生みたいに幼いのですしい...」
まる「メイドビキニに黒ストニーハイでちょ〜と際どい格好をしますけどお...」
まる「...合法です♡」

まる「年齢ですか？もう、お兄さん細かいことを気にするんですね...」
まる「それに女の子に歳を聞くのは失礼ですよ？」
まる「まあいいでしょう、マルはぴっちぴちのピー歳です！」
まる「...え？聞こえなかったですか？耳垢たまってます？大丈夫ですか？」
まる「ではもう一度...ぴっちぴちのピー歳です！」
まる「...色々と問題があるのでピーで隠してみました...こほん、合法です♡」

まる「まあ細かいことはいいじゃないですかあ、それよりも...」
まる「むふふ〜、お兄さんはラッキーですね！」
まる「今日はなんと特別キャンペーンを実施中です！」
まる「なんとっ！ご新規のお客様限定で、喫茶まるの美少女ことこのマル...」
まる「マルと付きっきりでイチャラブできる特別コースをご用意していますっ！」
まる「お値段もお安くなっており...本日だけ、本日だけの限定価格で10万円です！」
まる「...さあ、この機会にさあさあ...！」

まる「え？高い？...つかしいなあ...飛びつくと思ったんだけど...」
まる「8万円...ダメ？なな、いや...5万円！」

まる「ああっ！ちょっと！帰らないでくださいよお〜」
まる「特別コースはなしでいいですからあ〜」
まる「コーヒー、ですか？...まあいいですけど...」

まる「ここでまるカフェならではの特別ゲーム！」
まる「マルが今から乳首当てゲームをします、お兄さんはマルに当てられなければなんと無料！」
まる「無料でコーヒーが飲めちゃいます！」

まる「マルが当てたら5倍のお値段をいただきます」

まる「あ、ちょっと待ってくださいね...？」
まる「光の速さでコーヒーを淹れてきたので、もうキャンセルは受け付けておりません」
まる「ご了承ください」

まる「まあまあ、いいじゃないですか...」
まる「それにお兄さんの胸元なんて広大なんだから、小さな乳首なんて当たりませんで」

まる「はい、それじゃ胸を広げてくださいね〜」
まる「ん〜どこかなあ、分からないなあ〜...くすっ、ちょっと失礼しますね♡」

まる「ふー...はあ...乳首い...乳首の場所教えてくださいなあ〜い♡」
まる「お兄さんのエッチな乳首い、どこにあるんですかあ〜？」
まる「乳首の先っぽお...指でつつんってえ、したいなあ♡」

まる「くすっ、それじゃあいきますよお.....えいつ♡」
まる「あ、ピクってして...いい反応♡」

まる「当たっちゃいましたね〜、いやあ凄いな〜、運がいいなあ〜」
まる「というわけで残念っ！」
まる「お兄さんにはこれから5倍の値段のコーヒーを召し上がっていただきます...！」
まる「そう怒らないでくださいよ〜、美味しくなる魔法言ってあげますから♡」

まる「おいしくな〜れ、まるまるきゅんきゅん♡」

まる「...どうです？5倍の味します？」
まる「ああ、普通のコーヒーですか...」

まる「くすっ、それよりも...このカフェのテーマ、まだ言ってなかったですね」
まる「このカフェはエッチな格好をしたピー歳のロリっ子に、乳首を弄ばれちゃう...」
まる「乳首好きのための萌えメイド喫茶なんですよ〜」
まる「あ、もちろん合法です♡」

まる「それにしてもお兄さん、さっき乳首当てられた時ピクってしてましたけど...」

まる「ち・く・び、お好きなんじゃないですか？」
まる「ほらあ、さっき当てられた乳首...ぶっくり膨れてえ、勃起、してませんか？♡」
まる「お兄さんってえ...乳首で感じちゃう、変態さんなんじゃないですかあ？」

まる「今なら先ほどの、特別コース、お安くできますよお？どうしますう？」
まる「マルとその乳首を使って...イチャラブしたくないですかあ？」
まる「くすっ、ご注文...ありがとうございます♡」